

公立大学法人静岡社会健康医学大学院大学評価委員会
令和4年度第2回 議事録

令和4年8月2日(火)
グランディエールブケトーカイ

午後1時30分開会

【会議開始前】

- ・ 県事務局より、委員4名の出席と会議成立の案内

【議題 令和3事業年度に係る業務実績の評価について】

- ・ 県事務局より、評価の流れ及び評価結果（案）について説明

○ 県事務局

前回の委員会では、論文・学会発表等の件数のうち、大学院大学の所属となっているものの件数が不明だったが、確認したところ、全61件のうち、49件が大学院大学の所属であった。

○ 委員

大学院大学の所属となっているものが予想より多い。大学院大学の業績を反映した数字になっていると納得した。

○ 委員長

着任間もない中、大学院大学での業績として発表したのは大変いいことだと思う。

○ 委員

「その他業務運営に関する重要目標」を見ると、委員会を多数設置し、非常に細やかな運営をしており、委員会が機能しているとの印象を受けた。

委員会の数と、複数の委員会に所属している教員の現状はいかがか。

○ 県事務局

21名の教員で、28委員会を運営している。

○ 委員

資料からは、法的に求められている一定の基準内にとどまらない、基準を超えたところまで取り組んでいることが伺えた。

例えば、情報セキュリティも、大学院大学の特徴を踏まえた運営がされている。

ただ、「事務事業の見直し及び効率化を常に意識し、事務局の運営体制を柔軟に見直す。(NO.61)」という項目もあるので、職員が安定して取り組めるよう、負担に配慮しながら委員会活動に取り組んでいただければと思う。

○委員長

必要なもの、法定で置かないといけない委員会が多くある。特に大学院大学は規模が大きくないので、教職員の負担が過重にならないよう運営していただければと思う。

○委員

教員と事務局でバランスよくやっていただければと思う。

○委員長

今の御意見を運営の参考にしていただきたい。

○委員

資料1-1、資料1-2には、前回の議論が全部取り入れられているので、このままで良いと思う。

また、「研究の実施状況」からも、素晴らしい研究テーマに取り組んでいることが伺えた。「女性のヘルスケアに関する、女性に焦点を当てた研究をもっとしてほしい」という点、大学へお伝えいただければと思う。

○委員長

今の委員の意見について大学へお伝えいただきたい。

資料1-1、資料1-2は、本日の資料のとおり承認でよろしいか。

(全員、承諾)

本委員会として、この評価結果(案)で確定する。

【連絡事項 今後の評価スケジュール(予定)】

- ・ 県事務局より今後の評価スケジュールについて説明

午後2時09分閉会